

表1

実施計画の概要

回	期日 対象定員	活動テーマ ・ねらい	行動目標及び 活動のねらい
1	6月5日(日) 日帰り 児童・生徒 保護者 (50名)	「出会いを大切にしよう」 ・互いの気持ちをほぐしながら出会いを大切に位置付けする。 ・共に育てる作物への期待を抱くことができるようにする。 ・カウンセリングと講義による不登校児への理解と保護者に対する心の安定を求める。	◎新しい友達との出会い、ふれあいを通じてつどい参加の意欲を持つことができる。 ・不安感の軽減、解消(ゲーム) ・大地との接触体験(農作業 苗植え) ・栽培意欲の喚起、成長への期待感 ・不登校児童・生徒のネットワークづくり
2	7月2日(出) ～7月3日(日) 1泊2日 児童・生徒 (30名)	「友達と共に汗を流そう」 ・野外での宿泊生活の方法や技術を覚え、次回のキャンプへの意欲を持つことができるようにする。	◎友達と活動し、自分の思いや感じ方を表現することができる。 ・共同作業の体験(テント運営、野外炊飯) ・日常生活の基本として食住づくりの体験 ・夜の神秘さの体験 ・栽培作物の成長の確かめと期待感の高揚
3	8月3日(水) ～8月5日(金) 2泊3日 児童・生徒 (30名)	「友達との自然の中に飛び出そう」 ・習得した野外活動の方法や技術を生かして野外での宿泊生活を送る。 ・自然の恵みを感じ取りながら共同生活や交流の楽しさを味わう。	◎自然とふれあい、集団の中にとけこみながら他者との関わりを広げ、交流の楽しさを味わうことができる。 ・企画、実現化の楽しさ経験(お祭りの計画とお店屋さんの運営) ・キャンプの楽しさ経験 ・自作クラフトの成功感 ・他者との一体感、共有感(キャンプファイヤーへの参加) ・隠れた自分の再発見 ・他団体との交流(祭り共同企画運営)
4	10月7日(金) ～ 10月9日(日) 2泊3日 児童・生徒 保護者 (50名)	「大自然の中で、多くの友達とふれあおう」 ・他の研修団体メンバーと交流しつつ、登山を楽しみ大自然のすばらしさにふれる。 ・自ら育てた作物を収穫して味わい、勤労の喜びを味わう。 ・保護者・児童・生徒に対するのカウンセリング。	◎大自然の懐に飛び込んで活動し、自然の偉大さにふれると共に登頂の喜びを味わい、自信をつける。 ・星座観測、観察による情操の高揚 ・登山による体力・忍耐力・気力等の充実と大自然の雄大さの実感 ・栽培作物の収穫と自然の恵みへの感謝 ・カウンセリングによる自己理解と自己の開放
5	2月25日(出) ～ 2月26日(日) 1泊2日 児童・生徒 保護者 (50名)	「友達との絆を深めよう」 ・共に作りあげてきた思い出を大切に作る。 ・友情を深め合うことができるようにする。	◎体験発表を通じて、自己の生活を振り返り友達と共に自立を目指すことができる。 ・体験発表による感動の共有と他者の物の見方感じ方に対し理解と尊重の態度を身につける ・保護者間のネットワークづくり

◆福島県自然体験活動推進会議  
平成六年五月、「たくましく生きる少年のつどい」を効果的に推進するための推進会議を県教育委員会に設置しました。委員は各関係機関代表と学識経験者からなる十五名で編成

され、年三回の会議を持ちます。また、委員は運営スタッフ(専門委員)として「たくましく生きる少年のつどい」にも参加しています。

問い合わせ先	
0249(57)2111	福島県郡山少年自然の家
0245(21)7784	福島県教育庁生涯学習課